【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和6年11月13日(2024.11.13)

【国際公開番号】WO2023/171118
【出願番号】特願2024-505920(P2024-505920)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｎ 21/78(2006.01)
Ｇ０１Ｎ 33/543(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｎ 21/78 Ａ
Ｇ０１Ｎ 33/5435２１

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月4日(2024.4.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
（１）本発明の一態様は、取込部から導入されたサンプルを毛細管力によって流通させるための流路を有するテストストリップであって、互いに離間した状態で向かい合うように前記流路に設けられた第１試薬部及び第２試薬部を備え、前記流路は、前記第１試薬部における前記流路の上流側の端に位置する第１段差部と、前記第２試薬部における前記流路の上流側の端に位置する第２段差部と、を有し、前記流路における前記サンプルの流れ方向において、前記第１段差部と前記第２段差部とは、互いにオフセットしている、テストストリップである。
（２）上記（１）記載のテストストリップにおいて、前記第１段差部と前記第２段差部とのオフセット長さは、０．１ｍｍ以上であってもよい。
（３）上記（２）記載のテストストリップにおいて、前記オフセット長さは、０．２ｍｍ以上であってもよい。
（４）上記（１）～（３）のいずれか１つに記載のテストストリップにおいて、前記第２試薬部は、前記第１試薬部の下方に位置し、前記第２段差部は、前記第１段差部よりも前記流路の上流側に位置してもよい。
（５）上記（１）～（３）のいずれか１つに記載のテストストリップにおいて、前記第２試薬部は、前記第１試薬部の下方に位置し、前記第２段差部は、前記第１段差部よりも前記流路の下流側に位置してもよい。
（６）上記（１）～（５）のいずれか１つに記載のテストストリップにおいて、前記流路の流路内面には、親水性処理部が設けられてもよい。
（７）上記（１）～（６）のいずれか１つに記載のテストストリップにおいて、前記テストストリップは、前記第１試薬部が第１支持基体に設けられて形成された第１試薬片と、前記第２試薬部が第２支持基体に設けられて形成された第２試薬片と、前記第１試薬片が配置される第１試薬配置孔と、前記第２試薬片が配置される第２試薬配置孔と、を有し、前記第１試薬配置孔における前記流路の上流側の内面と前記第１試薬片との間には第１隙間が形成され、前記第２試薬配置孔における前記流路の上流側の内面と前記第２試薬片との間には第２隙間が形成され、前記流れ方向において、前記第１隙間と前記第２隙間とは互いに向かい合わないようにオフセットしてもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０１２８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３６
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

取込部から導入されたサンプルを毛細管力によって流通させるための流路を有するテストストリップであって、
互いに離間した状態で向かい合うように前記流路に設けられた第１試薬部及び第２試薬部を備え、
前記流路は、
前記第１試薬部における前記流路の上流側の端に位置する第１段差部と、
前記第２試薬部における前記流路の上流側の端に位置する第２段差部と、を有し、
前記流路における前記サンプルの流れ方向において、前記第１段差部と前記第２段差部とは、互いにオフセットしている、テストストリップ。

【請求項２】
請求項１記載のテストストリップであって、
前記第１段差部と前記第２段差部とのオフセット長さは、０．１ｍｍ以上である、テストストリップ。

【請求項３】
請求項２記載のテストストリップであって、
前記オフセット長さは、０．２ｍｍ以上である、テストストリップ。

【請求項４】
請求項１に記載のテストストリップであって、
前記第２試薬部は、前記第１試薬部の下方に位置し、
前記第２段差部は、前記第１段差部よりも前記流路の上流側に位置している、テストストリップ。

【請求項５】
請求項１に記載のテストストリップであって、
前記第２試薬部は、前記第１試薬部の下方に位置し、
前記第２段差部は、前記第１段差部よりも前記流路の下流側に位置している、テストストリップ。

【請求項６】
請求項１に記載のテストストリップであって、
前記流路の流路内面には、親水性処理部が設けられている、テストストリップ。

【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載のテストストリップであって、
前記テストストリップは、
前記第１試薬部が第１支持基体に設けられて形成された第１試薬片と、
前記第２試薬部が第２支持基体に設けられて形成された第２試薬片と、
前記第１試薬片が配置される第１試薬配置孔と、
前記第２試薬片が配置される第２試薬配置孔と、を有し、
前記第１試薬配置孔における前記流路の上流側の内面と前記第１試薬片との間には第１隙間が形成され、
前記第２試薬配置孔における前記流路の上流側の内面と前記第２試薬片との間には第２隙間が形成され、
前記流れ方向において、前記第１隙間と前記第２隙間とは互いに向かい合わないようにオフセットしている、テストストリップ。